

仏教保育

12

DECEMBER

伝えよう 生命の尊さ ほどけの心



仏教幼稚園を取り巻く状況

全日本私立幼稚園幼児教育研究機構理事長 田中 雅道

選択の決断迫る

子ども・子育て関連3法が成立し、幼稚園を保育所化する新たな幼保連携型認定こども園制度が作られようとしている。私立幼稚園は平成27年3月末までに、私学助成で残るのか、施設型給付制度に入るのかの選択を迫られている。施設型給付ならば、新たな幼保連携型認定こども園か、幼稚園型認定こども園か、幼稚園のまま施設型給付に移行するかを選択しなければならぬ。

型給付の公定価格と同水準にする法案を作成し、どの施設にいる子どもも平等に法的補助を受けられるよう求めている。私学助成と就園奨励費で施設型給付と同じ水準が得られるような制度を提案している。

私学助成で残る場合、将来的に私学助成が減額されるかのように伝えられているが、この補助金は私学振興助成法上の補助金であり、簡単に廃止されるものではない。自民党政権は様々な施設が互いに競争することを是としており、こども園という単一制度に移行することは求めている。ただ、私学助成は政策経費としての補助金であり、時々の政治に左右される性質を持っている。義務的経費としての性格を持つ施設型給付の方が安定財源として制度設計されている。現在、全日本私立幼稚園連合会では自民党政府に私学助成を施設

また、私学助成で残る幼稚園に在籍する、仕事を持つている保護者に対して、2号認定の子どもとしての給付が受けられるよう要求している。このような問題が解決されれば、私学助成に残るか、施設型給付に移行するかを同条件で判断する材料が整う。国の意向による制度変更なので、同じ条件が整うことを新制度了解の第一条件としている。

施設型給付の場合、公定価格は安定的に保障される。しかし、保護者負担について各園で決定することではできず、市町村が決定する。保育所は、現在の委託費を施設型給付とみなすことになっている。公定価格はまた示されていないが、各保育所に支給されている委託費を下回ることはないであろう。しかし、各自治体は保育所の保護者負担軽減措置を実施しており、国が示す保護者負担をそのまま保護

者に求めている市はない。各市町村の自主財源の中から負担軽減を行っていている。保育所は、こども園にならず保育所である限りこの軽減措置が継続される。一方こども園の保護者負担は市町村の子ども・子育て会議で、国が示す保護者負担をもとに決定される。こういった構図になれば公定価格は同じであっても、保護者負担は異なるということが起こる。保育所とこども園は同じ条件でなく、保護者負担のハンデを負って競争しなければならぬ。保護者負担を同じにするには、各市町村の子ども・子育て会議で、現在の保育所保護者負担と同じ負担が決定されなければならない。この場合、市町村は自主財源で保護者負担軽減を行わなければならない。保護者負担の差が埋まらないことが想定される。

また、公定価格や保護者負担国基準が示されるのは、平成26年4月に予定されており、次年度募集要項を決定しなければならぬ8月までに、市町村の公定価格及び保護者負担が正式決定されていないことも想定される。無理なスケジュールで、判断材料が整わないまま私立幼稚園は将来を判断しなければ

ならない。施設型給付に移行するのにも、私学助成で残るのも自由ならば、期限を定めて決定しなければならぬというように問題があり、全日本私立幼稚園連合会では、27年4月以降のどの時期であっても施設型給付に移行を決定でき、それまでは私学助成を継続できるように政府に要望している。

状況傍観も適切か

いずれにしても、私立幼稚園がどう判断するのが適切であるかという判断材料があまりに少なすぎる。今は、状況を静観するのが最も適切であると考え。今回の問題は、単に幼保問題でなく、都市部と過疎化が進んでいる非都市部の問題が根幹にある。満3歳児入園まで待っている子どもがいない地域ではこども園に移行して、早くから子どもが入園できる体制を作ることが急務である。一方都市部では、満3歳児以降の受け入れだけで十分運営が可能な地域は少なくない。地域の状況を見ながら、公定価格や保護者負担といった新たな制度の骨格が見えて初めて各園の行く末を考慮することができるといえるのが現状である。



「日本仏教教育学会・第22回学術大会」から報告

平成25年12月7日 / 武蔵野大学有明キャンパス

12月7日、国際展示場（江東区有明）に近い武蔵野大学有明キャンパスで標記の大会が開かれた。この催しは、教育に携わる先生たちが日頃の研究成果を持ち寄って交流を深めつつ、仏教保育の果たすべき今日的意義と役割について学びを深めることを目的としています。

開会式のと四つの教室に分かれ、各教室4名ずつ16名の先生方が研究発表されました。午後は、

仏教保育実践に多大な功績を上げておられる田中ケネス先生（武蔵野大学仏教文化研究所長）、竹村牧男先生（東洋大学学長）のお二人による公開講演会があり、その後、総会・懇親会へと続く充実の一日でした。

本稿では、日仏保に関係の深い佐藤達全先生と佐藤成道氏（父子）の研究発表の要旨をお伝えします。

淑徳大学大学院博士後期課程 佐藤成道氏

研究発表

「日本仏教保育協会のはじまりについて」 ～日仏保の誕生期と設立の目的～



1929(昭和4)年発足とされている日仏保の前身である「仏教保育協会」は発足以来85年を迎えようとしている現在まで、協会の誕生についてはあまり関心が持たれてこなかったようである。初代会長や副会長の名前は知っていても、協会設立の主唱者や設立年、あるいは設立委員まで知っているという人物は稀のようである。しかし、どのような組織や学問においても創始者たちに思いを致し、その「はじまり」を認識しておくことは重要である。

「はじまり」を基として、現在の将来の方向を決めることはすべての組織や学問に欠かせない視点である。佐藤成道氏ははじめにこう述べられてから、パワーポイントを使って以下のように話を進めていった。

【目的】

仏教保育研究は、仏教保育協会の「はじまり」を探求する段階にある。本発表では、日仏保の誕生期と設立の目的を明らかにしたい。協会が発足されたとする1929(昭和4)年という年号において、これに対する協会初期の役員の文言を参考に

しながら設立期を検討する。また、設立の目的についても、当時の協会が表明していた内容を中心にまとめる。

【結果】

協会誕生の時期は未だ明確ではなく、統一的な見解を定めるに至っていない。理由は、協会設立に際した混乱などにあつたと見える。1928(昭和3)年、堀 緑羊が中心となって協会を設立したものの会費が集まらず、出だしから活動が止まってしまった。翌年に各宗派の代表者が役員になることで、協会が発足したのである。当初から設立の年号を明確な形で定めなかったため、結果として設立の時期は個々の役員の見解に因るところとなった。戦後も実状を意識されないまま、今日に至っ

ていると考えられる。

協会設立の目的は、当時会長職にあった安藤正純が機関紙『佛教保育』創刊号の冒頭で「保育事業は大正15年の幼稚園令發布より目覚しく発展した。其のうち佛教関係者の設立はかなりの数に上ってきた。之が連絡と統一を図る目的で、昭和3年御大典を記念に佛教保育協会を設立」と述べている。主唱者である堀 緑羊は、各宗保育事業経営者の連合と団結を呼びかけ、超宗派としての協会の組織を目指していたのである。

【結 語】

協会設立の背景や目的は、設

立当初に表明されたものばかりではない。キリスト教の日本人保母会の存在や、設立に多大の貢献をした堀 緑羊の存在、設立の背景に関連した歴史的な出来事と佛教保育との関係を解明することが今後の課題である。

以上は要約であるが、例えば保母養成所設立や関岡憲一が語る創立の想い出、第一回全国仏教保育夏期講習会を兼ねた東京市大塚隣保館講堂での創立発会式（機関紙『佛教保育』昭和30年12月8日発行より）など、具体的かつ丁寧に協会の足跡を示された。

育英短期大学教授・日仏保講師 佐藤達全先生

研究発表

「生命尊重の心と学習意欲の関係について」 ～仏教保育・仏教教育の本質的な意味～



【1】問題の所在

「生命を尊重する」と言った場合、「他者の生命を傷つけない」という視点が強いように思われるが、「自己の生命を尊重する」という意味もふくまれないではない。更に、その命題には「与えられた自分の生命を精一杯生きる」という視点を

忘れてはならない。

佐藤達全先生は、冒頭で生命尊重の論拠をこう示されてから本題に入られた。

先生は、担当教科の授業で「いのちとは何か」について学生たちに問題提起をしたという。内容は釈尊の誕生偈「天上天下唯我独尊」を念頭に、中学の理科を基準にした「生まれることの意味」「いのちは一つしかないこと」「死は不意にやってくる

ること」「いのちといのちを比べて序列はつけられないこと」等で、この問題提起に想像以上の反応があったので、学習意欲の向上と仏教保育・仏教教育を関連付けて考えてみたい。およその内容は以下のようなものであった。

- ① 私がこの世に誕生するため受精の確率が700兆分の1ということ(奇跡的)。
- ② たった1個の細胞の受精卵が、子宮の中で10カ月の間に60兆個に分裂する。
- ③ 世界中で自分の「いのち」はたった一つしかないこと。
- ④ 「いのち」は比べて序列がつけられないこと。
- ⑤ そんな尊い「いのち」にも必ずいつか終わりの日がくること。
- ⑥ 自分の「いのち」はみんなの「いのち」と繋がっていること。
- ⑦ 大切なことは、終わりが来るまでの時間をどのように使うか、であること。

これらは、「保育」という営みの意味が正しく理解できるための導入部である。「保育の「保」は未熟な乳幼児の「いのち」を保護すること。「育」は自立へ向けて教育すること。」

【2】授業での試みから見えてきたこと

ほとんどの学生が「いのち」につ

いて真正面から向き合ったことがないという現実であった。授業を終えてから提出させたレポートから、主なものを紹介する。

- A 一つの「いのち」の誕生の素晴らしさを考えさせられた。
- B 生きていくことに感謝し、自分に誇りと自信をもつことの大切さを知った。
- C 生きていくことが当たり前だと思っていたが、その考えは間違いだったと気付いた。
- D 保育者を目指すには、もっともっと勉強しなければ...と思った。等々 (以下略)

このあと、先生は生命尊重の教育と学習意欲について

- 生命尊重の本質的な意味は一人ひとりが『自己の尊厳性』に気付くようにすることである。
- 「いのち」はいつか必ず終わりがくるのだから、「今日を真剣に生きる」という心を育てることである。

つまり、かけがえのない「いのち」を生きているという視点に立つことの重要性を述べ、今後に向けての課題として「いのち」の話聞いた時の「感動」と「学習への意欲」をいかに持たせるかである、と発表を締め括られた。

高野山真言宗 「第27回高野山保育連盟保育大会」

高野山真言宗保育連盟保育大会が7月29日、30日の二日間、高野山大師教会で行われました。初日午後2時から松長有慶総裁お導師のもと、物故者追悼法会が厳修され、読経の後、同連盟の山本雄理事長によって追悼文が奉読されました。

の高山照駿会長の祝辞、永年勤続表彰が行われました。続いて、教育・心理カウンセラーの富田富士也先生が、「だっこ、よしよし、泣いていいんだよ。」保育士だって抱きしめられたい」と題しての講演。

その後、閉会式が行われ、御法衣に続いて同連盟の吉本道英副理事長が、「お山で感じ取ったエネルギーをそれぞれの園で発揮していただきたい」と述べられ、また小敷教学部長が「辛いこともいやだと思えばストレスになる。負けないぞと自作の詩を披露し、参加した保育士らにエールをおくりました。

開会式では、宗歌いろは歌の斉唱の後、山本理事長の挨拶、管長親下のご垂示、小敷実英教育学部長の挨拶、智山保育連合会

フィリピン台風被災地に 見舞金30万円を日赤に寄託



11月8日、フィリピンを襲った台風30号は死者5800人近く、行方不明はおよそ12000人、被災者総数は1130万人余という途轍もない猛威をふるいました。今も60万人余が避難生活を余儀なくされているそうです。台風は最大風速毎秒87・5メートル、最大瞬間風速105メートルという想像を絶する疾風に加え、中心部の気圧は895ヘクトパスカルという低気圧だったと言います。地球上の気圧の平均は1013ヘクトパスカルだそうですから、これは超低気圧だったことになります。また、アメリカでは1分間平均の最大風速が67メートルを超

える台風を「スーパー台風」と呼んで非常態勢を呼びかけるそうですから、フィリピンの台風は、正に「化け物」のような台風だったことが分かります。しかも、レイテ島の奥にあるタクロバタン市では潮位が5メートルに達する高さとなり、折りからの化け物のような疾風と高潮によって海面が高く吸い上げられたと現地の報道が伝えていました。被害の甚大さは容易に察しられます。

公益社団法人日本仏教保育協会(緑谷一雄理事長)は、過日、日本赤十字社を通して、被災地への見舞金として金30万円を寄託しました。亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りすると共に、1日も早い復興を祈念します。



宗教法人インド国際仏教興隆協会 「現地役員総会」開催報告

平成25年11月23日(土)、宗教法人インド国際仏教興隆協会(上山大峻理事長)は、インド国ニューデリー首都圏所在のBuddha International Centre Seminar Hall No.3において「2013年度現地役員会」を開催しました。

議題は、2011・2012年の日本寺の運営についての活動報告。同協会の施設(IBOS・仏教学・東洋学研究所)プロジェクトの進捗状況等です。

研究所施設については土地更新の問題点がクリアされ、ブダガヤ開発法に則った設計の段階に至った、との説明がありました。また、研究所の機能の一つとして、菩提樹学園の卒園生のためのでケアにすることが検討課題であるということが検討課題であるというものでした。当協会からは高山久照先生が出席されました。

OMEP日本委員会

「2013年度第3回理事会」より

平成25年11月16日/上智大学1号会議室

去る11月16日(土)、上智大学1号会議室を会場にOMEP日本委員会の第3回理事会が開催されました。

「OMEP」はフランスの略語で「世界幼児教育機構」と訳されていることは周知のとおりです。第二次世界大戦後のヨーロッパにおいて幼児教育に携わっている人々によって国境を越えて子どもたちに協力すべく、国際機関を設立したのが始まりです。現在、56カ国が加盟しています。その目的は改めて述べまでもありませんが、簡略に言えば「すべての子どもが家庭や保育・教育機関、そして社会の

中でより良く発達し、幸せになるように最適な条件を用意する」「幼児教育・保育を改善するためにあらゆる努力を支援する」等とされています。高山久照先生(公益社団法人日本仏教保育協会常任理事)はOMEP日本委員会理事として本会に出席されました。以下、簡潔に会の流れを報告します。

【報告事項】

◎2013年6月1日第2回理事会以降の活動について

*上海世界総会世界大会準備ファクトシートの作成・シンポジウムの進行と資料作成・世界総裁、地域副総裁、会計

選挙について
*子どもファン্ডによる活動について
*会員の動向、会員名簿作成進捗状況

*広報活動
*第56回OMEP世界総会、地域会議、世界大会(シンポ・ワークショップ)等

*日本保育学会第67回大会国際シンポジウム準備状況

*第2回会員交流会in関西開催報告

等の報告が、詳細な資料に基づいて行われました。

「子どもファン্ডによる活動」報告(要約)

今年3月に「第3回保育フォーラムin福島」と2013年度総会時、公開パネルディスカッションで、震災からの2年間を振り返って討議が行われた。その成果を中心として上海でのOMEP世界大会では震災被災地の保育と子どもたちの状況を報告した。中国の保育者が、震災時の避難訓練や防災学習の取り組みなどに真剣な関心を寄せてくれたのが印象的であった。「放射能災害地での保育を考える」という福島での保育フォーラムを来春開催を目標に企画中である。

日本仏教保育協会編集による出席カードです。
仏教行事を楽しい絵柄で構成しています。



はなまつり、成道会、涅槃会などの仏教行事を、かわいいイラストでファンタジックに表現しています。

出席カード(仏教版)2012年度版
税込390円(本体価格372円)
出版シール(仏教版)2012年度版
税込240円(本体価格226円)

第5回理事会 第4回運営審議委員会

平成26年1月20日(月)

増上寺三縁ホール

受付 14時～14時30分
審議 14時30分～16時30分

審議内容

平成25年度補正予算(案)
平成26年度事業計画(案)
平成26年度収支予算(案)

平成25年度

第2回仏教保育研修会

16時～17時30分

講師 吉田正幸先生

テーマ

「子ども・子育て支援新制度の最新動向」
～問われる保育の質と
幼保に期待される役割～

新年懇親会

18時～

会場

ザ・プリンスパークタワー東京
地下2階「ボールルーム」

※吉田正幸先生参加

関西地区連絡協議会

日時 平成26年2月6日(木)

報告会 15時30分～16時30分

懇親会 17時～

会場 ホテルグランヴィア京都
3階「栄華の間」

養成機関連絡協議会

日時 平成26年2月24日(月)

協議会 16時～17時30分

懇親会 17時30分～

会場 芝パークホテル
本館2階「桜」

講師 安藤和彦先生

テーマ 「養成校における仏教保育の現状と課題」

※安藤先生に45分お話しいただき、その後、参加者の意見を伺う。
※昨年度アンケート添付



すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社 ジャクエツ
www.jakuetsu.co.jp

ご存知でしたか？
嘔吐物・汚物は、悪臭だけでなく
ウイルス・細菌を含む場合があります。処理する際は…

迅速かつ安全に行う必要があります。

※ 感染性病原体では、嘔吐物・汚物の適切な処理が重要

お困りではありませんか？誰もが嫌がる、嘔吐物・汚物

安全に 簡単に 嘔吐物・汚物かんたんスピード処理剤
解決! オブツポイポイ



高品質二酸化塩素の効果で 消臭・除菌・凝固させます!



株式会社 ジャクエツ
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-9721
FAX: 03-5561-9722
www.jakuetsu.co.jp

中道の見方～「仏教聖典」より

一本の材木が、大きな河を流れているとする。その材木が、右左の岸に近づかず、中流にも沈まず、陸にも上らず、人にも取られず、渦にも巻き込まれず、内から腐ることもなければ、その材木はついに海に流れ入るであろう。

この材木のたとえのように、内にも外にもとらわれず、有にも無にもとらわれず、正にも邪にもとらわれず、迷いを離れ、さとりにこだわらず、中流に身をまかせるのが、道を修めるものの中道の見方、中道の生活である。

道を修める生活にとって大事なことは、両極端にとらわれず、常に中道を歩むことである。



「仏教聖典」は、お釈迦さまのことばとして伝わった「お経」から、特に重要な部分や親しみのあるたとえ等を抜き出し、わかりやすい現代のことばに編集したものです。



全国の保育施設に寄贈致します。
入園時、卒園時、その他行事等で、
記念品としてお配りください。

※サイズは2種類ございます。
普及版 A6(文庫本サイズ 15 cm × 11 cm)
普及版 B6(単行本サイズ 18 cm × 13 cm)

- お問い合わせ -
公益財団法人 仏教伝道協会
〒106-0014 東京都港区芝 4-3-14
Tel: 03-3455-5853
Fax: 03-3798-2758

日仏保WEBサイト 毎月更新中!

公益社団法人 日本仏教保育協会のWEBサイト(<http://www.buppo.com/>)が公益社団法人化してから、毎月更新しています。

WEBサイトをお持ちの本協会加盟園様は、リンクをお申し込みください。

【お申し込み】

e-mail: hp-info@buppo.com

園名・加盟園番号(不明の場合はこちらでお調べします)・ご自園のホームページアドレスをお知らせください。





園長 千 230・0063 In 045・581・3162 柳澤 則子 長 横浜市鶴見区鶴見2・3・29	園長 千 111・0033 In 03・3844・8366 荻野 順雄 長 東京都台東区花川戸2・11・13	園長 千 333・0336 In 048・281・2333 後藤 光純 長 埼玉県川口市道合12221	園長 千 300・0812 In 029・821・1645 妹川 真澄 長 茨城県土浦市下高津2・10・22	園長 千 554・0051 In 06・6441・7849 神谷 周道 長 大阪府此花区西島3・26・11	園長 千 049・2672 In 0137・66・2527 菅原 諭貴 長 北海道二海郡八雲町野田生160・11
---	---	--	---	--	---

園長 千 146・0084 In 03・3756・0505 樋口 明道 長 東京都大田区南久が原2・30・5	園長 千 272・0813 In 047・334・1224 緑谷 一雄 長 千葉県市川市中山3・10・4	園長 千 983・0005 In 022・258・0026 三浦 宗格 長 仙台市宮城野区福室5・11・30	園長 千 101・0021 In 03・3251・8683 友松 浩志 長 東京都千代田区外神田3・4・10	園長 千 712・8063 In 086・444・9236 神原 彰仁 長 岡山県倉敷市水島南幸町1・9	園長 千 380・0847 In 026・234・5858 金子 英滋 長 長野市若松町1028
---	---	---	---	---	---

園長 千 146・0093 In 03・3758・0067 樋口 威道 長 東京都大田区矢口2・26・17	園長 千 164・0012 In 03・3374・3613 佐々木 雅子 長 東京都中野区本町2・45・14	園長 千 379・1617 In 0278・72・4120 榎山 泰学 長 群馬県利根郡みなかみ町藤原985	園長 千 178・0064 In 03・3922・3368 戸田 了達 長 東京都練馬区南大泉5・6・47	園長 千 606・8387 In 075・761・2211 信ヶ原 雅文 長 東京都左京区川端通3条上ル法林寺門前町36	園長 千 606・8387 In 075・761・2211 信ヶ原 千恵子 長 京都市左京区川端通3条上ル法林寺門前町36
--	---	---	--	---	--

園長 千 462・0866 In 059・912・5003 原田 道雄 長 名古屋市北区瑞光町1・8	園長 千 737・0022 In 0823・25・5671 西村 英昭 長 広島県呉市清水2・1・26	園長 千 131・0033 In 03・3622・7771 小林 昭彦 長 東京都墨田区向島5・4・4	園長 千 462・0022 In 052・981・1386 三浦 俊彦 長 名古屋市北区川中町6・11	園長 千 443・0006 In 0533・699・4418 伊藤 章寛 長 愛知県津島市藤都町荒子81・17	園長 千 290・0016 In 0436・43・9557 武藤 秀樹 長 千葉県市原市門前2・220
---	--	--	--	--	--

園長 千 191・0034 In 042・591・1688 清水 博雅 長 東京都日野市落川943	園長 千 156・0051 In 03・3427・2251 武田 治恵 長 東京都世田谷区宮坂2・10・1	園長 千 951・8061 In 025・228・5866 今湊 良敬 長 新潟市中央区西堀7・1558	園長 千 710・0055 In 086・425・0141 松井 大圓 長 岡山県倉敷市阿知3・20・7	園長 千 603・8231 In 075・491・8818 森 義昭 長 京都市北区紫野大徳寺町74	園長 千 652・0032 In 078・511・0167 井藤 圭瑞 長 神戸市兵庫区荒田町3・17・1
--	--	---	---	---	--

事務局日誌

11/12
11/14

「ほとけの子」拡大会議
「仏カリ」「仏教保育」編集会議
事務局会議
菩提樹学園運営委員会

「食」にまつわる二つの話題

▼一流ホテルのレストランや宴会場でのメニューに「ウソ」があったと報道されて一か月余が過ぎた。大阪で端を発した「メニューのウソ」は、東京の一流ホテルも負けじと相次いで高々と名乗りを上げた。ごく普通の白ネギを「九条ネギ」と称したり、「芝海老」と書きながら値段の安いバナメイエビを使用していたというお粗末な事件である。しかし、よくよく考えるに、そう思い込んで食べればなかなかの味と満足の笑みを浮かべた諸氏も多からう。ウソは良くないが、上手なウソには笑いが伴うという。秀吉が酒を禁じていた時に真つ赤な顔で御前にてた家来の言いが面白く、「柿の木を焚いておりました」と言った高名な学者の言葉が面白くも、誠にウソはつくなく」と言った高名な学者の言葉を噛みしめてみてはどうだろうか。

▼「和食」の文化遺産への登録が決定した、という嬉しいニュースを見た。アゼルバイジャンで開かれているユネスコ(国連教育科学文化機関)無形文化遺産の政府間委員会で「和食」日本人の伝統的な食文化の無形文化遺産への登録が正式に決まったという。日本の食文化の継承に危機感を覚えた京料理の関係者が発案したものだそう、新鮮で多様な食材とその持ち味を尊重。正月行事をはじめ、年中行事との密接なかわりを訴求してきたことが登録に繋がったようである。これまでメキシコの伝統料理、地中海料理、フランスの美食術などが「食」の無形文化遺産として登録されている。和食も仲間入りできたということである。心が和む、師走を飾る嬉しいニュースであった。

編集後記

■先日、らーめん店で好物の「ネギらーめん」を注文したところ、店主から「何か食べられないものはありますか？」と聞かれた。らーめんを食べに来た客に「食べられないものは？」と聞くとはどういうことか?! 最近のレストランでも、そのように聞くのが常識らしい。■子どものアレルギーが年々増えている。わが園でも卵アレルギーを持つ3歳の女の子がいる。担任も十分に注意をして見守っていた。ある日、その女の子が隣りの女の子のお弁当に美味しそうなお餅焼きがあるのを見つけて、担任の目の届かないところでおかずの取り換えっこしてしまった。幸い、少量だったので大事には至らなかった。小学生がチーズを食べた大変なことになったニュースは耳新しい。いま、70〜80歳代のお年寄り、あの太平洋戦争のさなかには食べ盛りの年頃であった。食べたいものも食べられず、まずくても口にして空腹をしのぎ、粗食に耐えてきた人たちである。その人たちは今、元気で長寿を保っている。医学の進歩、生活の改善が大きな理由ではあるが、■今の子どもたちは保護されすぎているか。公園の遊具でケガすれば、その遊具は撤去される。園で何かあれば訴訟問題になることを恐れるあまり、子どもの冒険心を奪っているように思えてならない。■ある小学生が転ぶ時、手を前に出さずに顔面から転倒してしまいう子がいると、校長先生が嘆いていた。心身ともに逞しい子どもを育てなくては! (関岡)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4-7-4
ホムベジ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

新選ジャータカ絵本全5巻 インドの昔話



セット定価¥7,875(本体¥7,500)
各28頁 27×22cm 上製
セットケース入り
本シリーズはジャータカ物語を子ども向きのお話にまとめたものです。仏教そのものを子どもに教えるのではなく、人間の心の中にある優しさ、みにくさを、身近な動物に仮託して描き出した物語絵本です。圖文庫や記念品に最適。

各巻定価¥1,575(本体¥1,500)

各巻タイトル
*ひにとびこんだうさぎ
*さるのはし
*みんなてまもったひなとり
*きんいろのしか
*そらあるくしろいぞう
すずき出版 鈴木出版株式会社
〒113-8602 東京都文京区本駒込6-1-4-21
電話 03-3139-4511 166-112
ファクス 03-3139-4511 166-112
<http://www.suzuki-syuppan.co.jp/>